

一般会計

支出 249億4,297万円 (22年度比-1.4%)

市民一人当たりに使った
お金の換算すると・・・ → **48万8,915円**

※23年度末住民基本台帳
人口51,017人で算出

民生費(+1.3%)	63億1,495万円	25.3%
公債費(-13.6%)	43億2,003万円	
総務費(+10.4%)	27億3,553万円	
教育費(+7.7%)	24億8,303万円	
土木費(+8.8%)	21億8,231万円	17.3%
農林水産業費(-4.5%)	20億2,927万円	
衛生費(-2.2%)	16億5,842万円	11.0%
消防費(+8.2%)	9億3,928万円	
商工費(-8.0%)	5億6,540万円	10.0%
議会費、災害復旧費 労働費、諸支出金 (-12.8%)	17億1,475万円	

()内は、対22年度比



ケーブルテレビ放送施設HD化工事

▲総務費=1億3,087万円。自主制作番組のデジタル化や取材・編集機器の更新を行いました



並型魚礁の設置

▲農林水産費=2,124万円。つくり育てる漁業促進のため、並型魚礁の設置を行いました



子育て支援サイト「ゆめろんネット」構築

▲民生費=404万円。子育てを家庭を応援するサイト(<http://www.yumerun-net.jp/>)。登録制メルマガでは、子育ての助けとなる情報を配信

健全化判断比率(速報)		(単位:%)		
指標	南あわじ市		早期健全 化基準	財政再生 基準
	23年度	22年度		
実質赤字比率 (普通会計の赤字から財政運営の深刻度を見る比率)	-	-	12.65	20.00
連結実質赤字比率 (全ての会計の赤字から財政運営の深刻度を見る比率)	-	-	17.65	35.00
実質公債費比率 (借金の返済額等の大きさから資金繰りの危険度を見る比率)	16.1	18.2	25.0	35.0
将来負担比率 (市が抱える負債の残高から将来財政への圧迫度を見る比率)	158.7	185.5	350.0	-

※赤字が生じない場合は、「-」と表示

資金不足比率(速報)		(単位:%)		
指標	南あわじ市		経営健全 化基準	備考
	23年度	22年度		
資金不足比率 (企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度を見る比率)	-	-	20.0	会計毎に算定

※資金不足が生じない場合は、「-」と表示

23年度は全体の収入は減少しているものの、個人住民税や固定資産税の家屋(新增築)、たばこ税などが増加し、市税全体では昨年度に比べ0.6%のプラスとなり、本市収入の約38%を占める地方交付税も3.8%のプラスとなりました。

支出面では、新庁舎建設事業やケーブルテレビ整備事業、淡路人形会館建設事業、小中学校校舎等大規模改造工事などに取り組みました。また、平成23年度は、台風・大

雨による被害が多発したことから、農地や道路・河川、公共施設に係る災害復旧事業にも対応しました。

そのほか、安全で安心なまちづくりのため、新たに「アラート(全国瞬時警報システム)」を整備し、緊急地震速報や津波警報などの情報を防災無線等で自動で放送するシステムを整備しました。

また、市債残高は定時償還に加え、約3億円の繰上償還を実施したことで、前年度より約13億円減少しました。

平成23年度 決算状況報告

図財政課 ☎50-3033

平成23年度一般会計の決算額は、収入260億9,641万円、支出249億4,297万円でした。そのうち平成24年度へ事業を繰り越して使う資金などを差し引いた実質的な収支は、8億312万円の黒字(単年度*では7億5,456万円の黒字)で、収支バランスのとれた決算となりました。

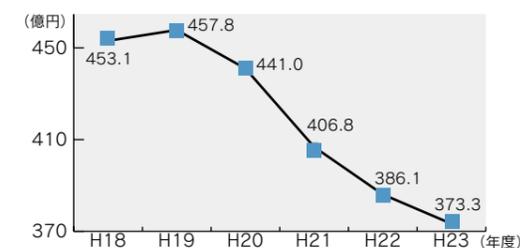
※単年度は前年度からの繰越金や財政調整基金積立額、市債の繰上償還額を除いたもの

収入 260億9,641万円 (22年度比-0.7%)

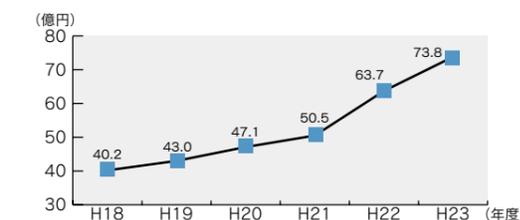
38.2%	地方交付税(+3.8%)	99億5,835万円
	市税(+0.6%)	59億9,094万円
23.0%	市債(+6.7%)	23億7,760万円
	国庫支出金(+7.1%)	21億6,296万円
9.1%	県支出金(-2.6%)	16億8,158万円
	諸収入(-52.0%)	6億8,088万円
8.3%	使用料・手数料(-2.3%)	5億8,828万円
6.4%	繰入金(-8.3%)	3億8,349万円
2.6%	その他(-1.9%)	22億7,233万円
2.2%		
1.5%		
8.7%		

()内は、対22年度比

市債(借金)残高の状況	
23年度末	市民1人当たり
一般会計市債残高	373億2,807万円
	73万1,679円



基金(貯金)残高の状況	
23年度末	市民1人当たり
一般会計基金残高	73億7,951万円
	14万4,648円



この決算状況を「月収30万円の家計」に例えると...

収入		支出	
給与	30万円 (-8,000円)	食費(人件費)	6万6,700円 (-2,000円)
うち基本給(市税など)	25万3,100円 (+3,900円)	医療費(扶助費)	4万9,700円 (+1,600円)
諸手当(特別地方交付税、使用料など)	4万6,900円 (-1万1,900円)	ローンの返済(公債費)	6万9,000円 (-1万,900円)
前月からの繰越金(繰越金)	1万5,800円 (+4,500円)	光熱水費や通信費など(物件費)	5万300円 (+2,800円)
親からの援助(国・県支出金)	6万1,400円 (+1,700円)	家・車・電化製品の修理や買換(維持補修費、普通建設事業費)	5万400円 (+9,900円)
銀行からの借入(市債)	3万8,000円 (+2,400円)	交際費・子どもへの仕送り(補助費、繰出金など)	9万4,500円 (+1,400円)
貯金の取り崩し(基金繰入金)	1,800円 (-3,200円)	貯金(積立金)	1万7,900円 (-8,400円)
計	41万7,000円 (-2,600円)	計	39万8,500円 (-5,600円)

来月への繰越金 1万8,500円(+3,000円)

毎月の出費が約40万円。月収30万円では足りません。不足分を親からの援助や銀行からの借入、貯金の取り崩しでまかっています。

市税の納付状況		
区分	23年度末	市民1人当たり
市民税	21億1,228万円	4万1,403円
固定資産税	33億2,328万円	6万5,141円
軽自動車税	1億6,359万円	3,207円
市たばこ税	3億5,271万円	6,913円
入湯税	3,908万円	766円
合計	59億9,094万円	11万7,430円



淡路人形会館建設事業
▲教育費=1億9,497万円。淡路人形浄瑠璃の保存・伝承活動の拠点施設として新会館を建設